

公立高校の入試制度が変わります!

愛知県の公立高校では、令和5(2023)年4月に入学する人が受検する入試から、新しい制度になります。

一般選抜で2校に出願できるのはこれまでどおりですが、学力検査は1回となります。また、推薦選抜などの時期が早まって2月上旬となり、一般選抜の合格者発表もこれまでより早くなります。さらに、高校や学科の特色を生かした「特色選抜」が導入されるなど、現在の制度から大きく変わるところがあります。



このパンフレットで新しい入試制度を理解し、これからの進路を考える上で役立ててください。

変更のポイント

学力検査

P.4

一般選抜の学力検査の回数が
2回から1回になります。

※ 2校に志願できることは
これまでどおりです。



推薦選抜

P.5

推薦選抜の実施時期が早まり、
2月上旬となります。

※ 推薦選抜では、学力
検査を行いません。
※ 外国人生徒等選抜も
同時期に実施します。



面接

P.4

一般選抜で面接を実施するかどうかは
高校ごとに決定します。

※ 高校ごとの面接の
有無は、令和4年4
月頃に公表します。

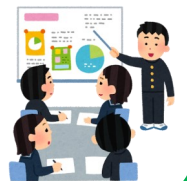


特色選抜

P.3

高校や学科の特色を生かした
「特色選抜」を導入します。

※ 特色選抜は、一部の高校・学科
で実施します。実施校と検査の
内容、定員枠は、令和4年4月
頃に公表します。



新しい入試の流れ

※ 日付は令和5（2023）年度入試の日程です。

1月

連携型選抜

1/26,27
出願

1/30
面接・「学習のまとめ」の発表

1/31
合格者発表

推薦選抜

特色選抜 New!

外国人生徒等 選抜

全日制単位制 選抜

2/1, 2

出 願

2/6
面 接

一部の学科では
実技検査も実施

2/6
面 接

作文
基礎学力検査
スペシャリティ
実技検査
から1つ

2/6
面 接

学力検査
国・数・英
漢字こぼし

2/6
面 接

基礎学力検査

2/8

合格者発表

2月

一 般 選 抜 海外帰国生徒選抜

第1志望校
一般選抜
海外帰国生徒選抜

第2志望校
一般選抜

2/10,13
2/14 志願変更

出 願

2/22

学 力 検 査

学力検査は第1志望校で受検（1回のみ）

A: 2/24
B: 2/27 面 接

面接の有無は高校ごとに決定
一部の学科では実技検査を実施

A: 2/24
B: 2/27 面 接

面接の有無は高校ごとに決定
一部の学科では実技検査を実施

3/9

合格者発表

3月

※ 令和5（2023）年度入試の日程は、定時制・通信制および県立特別支援学校高等部を含めて6ページにも掲載しています。

特色選抜

高校や学科の特色を生かした新しい選抜です。将来の進路目標やその高校・学科で学ぼうとする意欲、学科やコースに関連する分野での能力・実績などを重視します。一部の高校・学科で実施します。

高校・学科ごとの出願資格

- 農業、工業、商業、水産、家庭、看護および福祉に関する学科
その高校・学科の特色ある教育内容に関連する明確な進路目標と強い学習意欲を有する者
- 理数、体育、外国語、国際教養に関する学科、総合学科およびコースを設置する普通科・特色ある教育課程を有する普通科
自然科学、人文・社会科学、スポーツなど特定の分野で優れた能力と顕著な実績を有する者 ※「特定の分野」にはコースに関連する分野を含みます。
- 地域に根差し、地域貢献を特色とする高等学校
その高校で学習する強い意欲と、地域社会に貢献する意志を有する者

※ 音楽科と美術科では、特色選抜を実施しません。

入学検査

面接

+

- ◆ 作文
 - ◆ 基礎学力検査
 - ◆ プレゼンテーション
 - ◆ 実技検査※
- から1つ

作文、基礎学力検査、プレゼンテーション、実技検査のうち、どれを実施するかは高校ごとに異なります。

※ スポーツの種目別実技、英語による問答、鉛筆による正確な描写、紙を使った立体の構成のいずれかを高校が選択します。

定員枠

各高校・学科の募集人員の20%程度までを上限に、各高校が「何人程度まで」と具体的な人数の枠を設けます。

推薦選抜の定員枠とは別に定めます。

提出書類

入学願書

調査書

志望理由書※

※ 志願者本人が記入します。

実施校の公表

実施する高校・学科、入学検査の内容、定員枠などは、令和4年4月頃に公表する予定です。

他の選抜との併願

推薦選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜、連携型選抜との併願はできません。

一般選抜

Aグループ、Bグループの高校から1校ずつ、計2校まで志願できます。調査書、学力検査の成績等の資料によって総合的に決定した校内順位をもとに、合格者を決定します。全ての高校・学科で実施します。

入学検査

学力検査※1

+

面接※2

(+)

実技検査※3



※1 学力検査は第1志望校で受検します。2校に志願した場合は、学力検査の成績を第1志望校と第2志望校の両方で用いて校内順位を決定します。また、全校で同一の採点基準とするため、解答用紙をマークシートにします。

※2 一般選抜の面接を実施するかどうかは、各高校が決定します。

※3 実技検査は、音楽科、美術科、スポーツ科学科、デザイン科（名古屋市立工業高校のみ）で実施します。

校内順位・合格者の決定

調査書、学力検査の成績、面接（面接は実施する高校のみ）等の資料により、総合的に校内順位を決定します。その後、全ての高校の校内順位データをコンピュータで処理し、各高校の合格者を決定します。

校内順位の決定は、以下に示す評定得点と学力検査合計得点を使い、各高校があらかじめ選択するⅠ～Ⅴの「校内順位

評定得点と学力検査合計得点

評定得点

調査書の評定合計（最高45）を2倍した数値で、最高は90点です。

学力検査合計得点

国語、数学、社会、理科および外国語（英語）の各教科の得点の合計で、最高は110点（22点×5教科）です。

校内順位

Ⅰ	評定得点 (90)	+	学力検査合計得点 (110)
Ⅱ	評定得点 × 1.5 (135)	+	学力検査合計得点 (110)
Ⅲ	評定得点 (90)	+	学力検査合計得点 × 1.5 (165)
Ⅳ	評定得点 × 2 (180)	+	学力検査合計得点 (110)
Ⅴ	評定得点 (90)	+	学力検査合計得点 × 2 (220)

Ⅳ、Ⅴの方式が新たに加わります

New!

推薦選抜

学力検査を行わず、中学校から提出された推薦書と調査書、面接の結果等の資料により、総合的に判定して合格者を決定します。全ての高校・学科で実施します。

定員枠

○ 普通科

募集人員の10%程度から15%程度
ただし、全日制単位制高校（守山高校、幸田高校）は30%程度から45%程度

○ 専門学科・総合学科

募集人員の30%程度から45%程度

入学検査

面接



実技検査※

※ 実技検査は、音楽科、美術科、スポーツ科学科、デザイン科（名古屋市立工芸高校のみ）で実施します。

その他の特別な選抜

連携型選抜

連携型中高一貫教育校である福江高校、新城有教館高校作手校舎、田口高校において実施します。

連携中学校に在籍する生徒が対象です。
推薦選抜等との併願はできません。

全日制単位制選抜

全日制単位制高校となる守山高校と幸田高校において、推薦選抜と同じ日に実施します。

中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年又は両方のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の生徒が対象です。推薦選抜等との併願はできません。

海外帰国生徒選抜

新たな実施校として、昭和高校と岡崎西高校を加えた8校において、一般選抜と同じ日に実施します。

原則として、継続して2年以上海外に保護者とともに在住していたこと、帰国後2年以内であることなどが条件です。

* 昭和（普通科）	中村（普通科）
豊田西（普通科）	* 岡崎西（普通科）
豊橋東（普通科）	名東（国際英語科）
千種（国際教養科）	刈谷北（国際教養科）

* は新規実施校

外国人生徒等選抜

現行と同じ11校において、推薦選抜と同じ日に実施します。

本人又は保護者が外国籍であることや、入国後の在日期间が6年以内であることなどが条件です。

推薦選抜等との併願はできません。

名古屋南（普通科）	小牧（普通科）
東浦（普通科）	衣台（普通科）
安城南（普通科）	豊田工科（工業科）
豊川工科（工業科）	中川商業（商業科）
岩倉総合（総合学科）	知立（総合学科）
豊橋西（総合学科）	

令和5(2023)年度入試の日程

	全日制課程	定時制課程	通信制課程
2月	<p>推薦選抜・特色選抜・外国人生徒等選抜・全日制単位制選抜</p> <p>① 願書受付 2月1日(水)・2日(木)</p> <p>② 面接・検査 2月6日(月) ※一部の高校は、2月7日(火)にも行います。</p> <p>③ 合格者発表 2月8日(水)</p>	<p>前期選抜</p> <p>① 願書受付 2月3日(金)・6日(月)</p> <p>② 志願変更 2月7日(火)</p> <p>③ 入学検査 2月9日(木)</p> <p>④ 合格者発表 2月15日(水)</p>	<p>前期選抜</p> <p>① 願書受付 1月19日(木)～1月23日(月)</p> <p>② 入学検査 1月29日(日)</p> <p>③ 合格者発表 2月1日(水)</p>
	<p>一般選抜</p> <p>① 願書受付 2月10日(金)・13日(月)</p> <p>② 志願変更 2月14日(火)</p> <p>③ 学力検査 2月22日(水)</p> <p>④ 面接 Aグループ 2月24日(金) Bグループ 2月27日(月)</p>	<p>全日制課程 連携型選抜</p> <p>※ 連携型中高一貫教育校である福江高校、新城有教館高校作手校舎、田口高校で実施します。</p> <p>① 願書受付 1月26日(木)・27日(金) ② 面接等 1月30日(月) ③ 合格者発表 1月31日(火)</p>	
3月	<p>⑤ 合格者発表 3月9日(木)</p> <p>第2次選抜</p> <p>※ 第2次選抜は一般選抜で欠員が生じた学校・学科で実施します。</p> <p>① 願書受付 3月13日(月)</p> <p>② 志願変更 3月14日(火)</p> <p>③ 入学検査 3月15日(水)</p> <p>④ 合格者発表 3月16日(木)</p>	<p>後期選抜</p> <p>① 願書受付 3月10日(金)・13日(月)</p> <p>② 志願変更 3月14日(火)</p> <p>③ 入学検査 3月15日(水)</p> <p>④ 合格者発表 3月16日(木)</p>	<p>後期選抜</p> <p>① 願書受付 3月13日(月)～3月17日(金)</p> <p>② 入学検査 3月22日(水)</p> <p>③ 合格者発表 3月24日(金)</p>

【参考】県立特別支援学校高等部の入学者選考日程

○ 高等特別支援学校、豊川特別支援学校本宮校舎、大府もちのき特別支援学校桃花校舎	○ 左記以外の特別支援学校の高等部
① 入学願書提出 1月10日(火)～16日(月)	① 入学願書提出 2月3日(金)～9日(木)
② 志願変更 1月19日(木)・20日(金)	② 入学者選考 2月16日(木)
③ 入学者選考 1月26日(木)	③ 合格者発表 2月24日(金)
④ 合格者発表 2月2日(木)	

Q&A

なぜ入試制度を変更したのですか？

一般選抜で2校に志願した場合でも学力検査は1回にして負担を軽くすることや、一般選抜の合格者発表を早めて高校入学の準備が余裕をもってできるようにすることに加えて、推薦選抜の実施時期を早め、あわせて「特色選抜」を新たに導入することなどにより、中学校生活でがんばった人や高校で学ぶことに強い意欲をもっている人が、現行制度よりも第1志望校にチャレンジしやすくするためです。

推薦選抜の変更点は何ですか？

現行制度からの変更点は次の4点です。

- ① 実施時期が約1か月早くなります。
- ② 一般選抜の学力検査を受ける必要はありません。
- ③ 面接で「自己の特性などを1分間程度で答えさせる質問」は行いません。
- ④ 農業、工業、商業などの職業に関する学科で行われていた①推薦が「特色選抜」に移されました。ただし、農業科と水産科のいわゆる「後継者推薦」は、引き続き推薦選抜として行います。

一般選抜の学力検査が1回となり、第1志望校で受検するというのですが、第2志望校では採点の基準が異なることはありませんか？

新しい制度の導入に合わせて、解答用紙をマークシートにしますので、全ての高校において同一の基準で採点されます。マークシートの形式は、6月頃に公表する予定です。

特色選抜には、どのような人が出願できるのですか？

特色選抜を実施する高校・学科によって異なりますが、その高校・学科で学びたいという強い意欲があることに加えて、その高校・学科の教育内容に関連する明確な進路目標のある人、学科やコースに関連する分野で優れた能力と顕著な実績のある人、地域社会に貢献する意志のある人が出願できます。

推薦選抜や特色選抜などで合格しなかったときに、一般選抜で同じ高校に出願すると、不利になりませんか？

推薦選抜や特色選抜などの不合格者が、一般選抜で不利に取り扱われることはありません。他の受検生とともに公平に選抜され、校内順位が決定されます。

推薦選抜や特色選抜などで合格しなかったときは、一般選抜では別の高校に出願してもいいですか？

推薦選抜や特色選抜などで合格しなかったときは、一般選抜では別の高校に出願することができます。

一般選抜の面接は、どこで受けるのですか？

一般選抜の面接は、入学願書を提出した高校で行います。ただし、一般選抜の面接を実施するかどうかは各高校が決定しますので、第1志望校、第2志望校ともに面接を実施する場合には、それぞれの高校へ面接を受けに行くことになります。

Q&A

一般選抜における校内順位の決定方式は、なぜ3通りから5通りに増えたのですか？

中学校でふだんの学習をがんばったことや、学力検査で実力を発揮できることなど、各高校が入学する生徒に期待するものを、これまでよりも明確に示すようにするためです。

欠席日数が多いのですが、特別な配慮はありますか？

中学校の第2学年、第3学年のいずれか又は両方の学年における欠席日数が、年間30日程度以上の入学志願者のうち希望する人は、全ての選抜で「自己申告書A」を提出することができます。

また、中学校卒業見込で、やむを得ない事情により、第3学年の欠席日数が出席すべき日数の半分以上である人は、一般選抜において「長期欠席者等にかかる選抜方法」の適用を中学校を通じて申請することができます。

出願手続きは、ウェブでできますか？

令和5（2023）年度入試はこれまでどおり紙の願書等を使用しますが、新制度2年目の令和6（2024）年度入試からは、ウェブによる出願の導入を検討しています。



高校ごとの一般選抜における校内順位の決定方式や面接の有無は、いつ公表されますか？

特色選抜の実施校などとともに、令和4年4月頃に公表する予定です。

一般選抜で、第1志望者は第2志望者よりも有利に扱われますか？

校内順位の決定は、第1志望者、第2志望者ともに同じ条件で行いますので、志望順位による有利・不利はありません。

障害のある志願者に対する配慮はありますか？

障害（病気やけが等を含む）のある志願者に対しては、中学校を通じて志願先の高校に提出される「受検上の配慮に関する申請書」に基づき、必要な調整を行った上で、学力検査や面接などで、座席の移動や別室での受検、補助具の使用、英語の聞き取り検査における音声聴取方法の変更などの配慮がなされます。

群・グループ分けの変更はありますか？

各高校の群・グループは、これまでどおりです。また、普通科における尾張・三河の学区についても変更はありません。

愛知県教育委員会 高等学校教育課 入試改革グループ

TEL 052-954-6786（ダイヤルイン）

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotogakko/>



愛知県 高校教育

検索

令和3（2021）年11月発行